

比較文化演習Ⅰ

科目ナンバリング SEM-313
選択必修 2単位

上田 仁志

1. 授業の概要(ねらい)

【日本人の曖昧さとは?: 日本文化の特徴をさぐる】

参加者の研究発表を中心とする比較文学・文化のセミナーです。〈あいまい〉を切り口として、日本人の言語態度とその背景にある文化風土を、海外との比較も交えて研究します。日常会話などの身近な例から始めて、小説や映画のセリフ、俳句などのさまざまな材料にあたって、日本人が知らず知らずに行っている〈あいまい〉な言葉遣いやコミュニケーションとはどのようなものか、その特徴を(メリット、デメリットも含めて)明らかにしていきます。さらに、そうした日本人の〈あいまいさ〉は、歴史的・社会的に見て、どのように生まれ、定着したのかを探っていきます。授業の進め方は、具体的テーマに即して、個人またはグループ単位で調査を行い、研究成果を発表するというものです。春期セメスターでは、日常の会話などで経験したことのある〈あいまい〉の事例、日本語と英語との構文比較、映画・ドラマのセリフの分析など、コミュニケーションと言葉の構造の〈あいまい〉に焦点をあてる予定です。

2. 授業の到達目標

1. 研究テーマに見合った文献・資料にアクセスできる。
2. 文献・資料の内容を適切に整理・要約することができる。
3. 文献・資料に基づき、自分の意見・解釈を交えて、発表することができる。
4. 他人の意見・解釈を踏まえて、自分の意見・解釈を再検討できる。
5. 研究テーマを通して学んだものを文章にまとめることができる。

3. 成績評価の方法および基準

成績評価は、平常点(小テスト・課題)40%、発表40%、期末テスト20%

4. 教科書・参考文献

教科書
使用しません。

5. 準備学修の内容

1. 指定された文献・資料を読み、内容を要約する。
2. 文献・資料の内容について、コメント文を作成する。
3. 指定されたテーマについて、MELICで参考文献を調査する。
4. パワーポイントなどの発表資料を作成する。

6. その他履修上の注意事項

1. オリエンテーションを含む第1回目の授業は重要です。必ず第1回目の授業から出席してください。
2. 出席は「完全カードリーダー制」です。入室時と退室時に学生証をカードリーダーに当てて読み取らせてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション: 授業のテーマ、到達目標、進め方について説明を行う。自己紹介をとおしてお互いを知る。
- 【第2回】 コミュニケーションにおける〈あいまい〉(1) グループ内で身近な体験事例を紹介する。
- 【第3回】 コミュニケーションにおける〈あいまい〉(2) 体験事例に考察を加えて短文にまとめる。
- 【第4回】 コミュニケーションにおける〈あいまい〉(3) グループ単位で事例をまとめて発表する。
- 【第5回】 日本語表現における〈あいまい〉(1) コミュニケーション態度の〈あいまい〉の事例を説明する。
- 【第6回】 日本語表現における〈あいまい〉(2) 言葉遣いの〈あいまい〉の事例を説明する。
- 【第7回】 日本語表現における〈あいまい〉(3) 構文の〈あいまい〉の事例を説明する。
- 【第8回】 英語表現との比較(1) グループ内で日本語の〈あいまい〉表現を英語と比較して説明する。
- 【第9回】 英語表現との比較(2) 日本語構文と英語構文の基本的な違いを短文にまとめる。
- 【第10回】 英語表現との比較(3) 日本語と英語の比較に基づき、〈あいまい〉についてグループ発表する。
- 【第11回】 映画・ドラマのセリフ(1) 小津映画のセリフ(家族の会話)の特色を説明する。
- 【第12回】 映画・ドラマのセリフ(2) ドラマ『セトウツミ』のセリフ(高校生の会話)の特色を説明する。
- 【第13回】 映画・ドラマのセリフ(3) 米ドラマ『ニュースルーム』(職場の会話)の特色を説明する。
- 【第14回】 映画・ドラマのセリフ(4) 映画・ドラマの事例に基づき、日米のコミュニケーションの特色を説明する。グループ単位で発表する。
- 【第15回】 春期セメスターのまとめと復習テストを行う。